

## 家族との絆・地域へのボランティア — 家庭の教育を地域ぐるみで支える —

### 【プログラムのねらい】

今日、家庭の教育力が低下しているのではないかとされます。このことを単に家庭だけの問題にするのではなく、地域全体で家庭を支える視点が求められています。家庭が積極的に地域活動に関わり地域の一員としての役割を果たすことで地域との連帯感が生まれ、さらに家族の絆が深まることを学習します。

### 【プログラムの展開例】（時間：60分程度）

	○進め方、◎ことばかけ	留 意 点
導入 10分	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自己紹介をします。</li> <li>○プログラムのねらいや学習の進め方について説明します。</li> <li>○自己紹介やゲームを行い、緊張を和らげたり、参加しやすい雰囲気づくりをします。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○明るく元気な話し方を心がけます。</li> <li>○今日のプログラムのねらいについてポイントをしぼりわかりやすく説明します。</li> <li>○参加者に気を配り、ゲームに参加できていない人や戸惑っている人には、明るく声かけをして参加を促します。</li> <li>○ゲームなどが終了するまでに、次の活動にスムーズに移れるようにグルーピングしておきます。</li> <li>○1グループ5～6人（全体の人数が少ない場合は3～4人）を目安に編成します。</li> <li>○導入で時間を取りすぎると展開やまとめの時間が少なくなります。あらかじめ時間配分を考えて進めていくようにします。</li> </ul>
展開 40分	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎「ワーク1」の事例、事例の続きを読んで、それぞれの項目に記入しましょう。</li> <li>◎「ワーク2」では、今日の地域社会の特徴と子どもの育ちについて考えます。日ごろ感じていることを記入してみましょう。</li> <li>◎「ワーク1、2」を記入して、感じたことや考えたことを話し合みましょう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○考えたことを自由に書くように話します。</li> <li>○ワーク1と同じ展開で進めます。</li> <li>○答えに「正しい」、「間違っている」ということではないので、感じたことや考えたこと積極的に発表してほしいこと、また、お互いの発表を共感的に受け止めてほしいことを話します。</li> <li>○各グループを回り、意見交換の様子や出されている意見の内容について把握しておきます。</li> </ul>

	○「ワーク3」の活動を説明します。地域の活動としてできること（できそうなこと）について考えてもらいます。	○ワーク1と同じ展開で進めます。
まとめ 10分	◎今日の学習のまとめをしましょう。 ○参加者一人一人に今日の学習を通して考えたことや感想を書いてもらいます。 (ふりかえり) ○発表してもらいます。	○今日の学習を振り返り、特に印象に残ったことを中心に書くように話します。 ○あらかじめ、数人の方に感想を発表してもらうようお願いしておきます。 ○発表を共感的に受け止め、発表に対して手短かにコメントします。 ○プログラム集P99の「家庭の教育力再生に関する調査研究」の文章を紹介し、自尊感情や家族の絆について話しまとめます。

※ 設定時間が短い場合には、ワーク1を中心に流れを考えるようにします。

## 資料1

### <参加しようボランティア活動>

#### ボランティアの語源

ラテン語の「ボランタス (voluntas):自由意志」、フランス語の「ボランティ (volunte):喜びの精神」、英語の「ボランティア (volunteer):志願兵」動詞では「自発的に申し出る」という意味です。

## 資料2

ボランティア活動に興味のある人は、次のところにアクセスして下さい。たくさんの情報を得ることができます。

全国社会福祉協議会ホームページ

<http://www.shakyo.or.jp/>